



その一年の世相を表す“今年の漢字”が12月12日に発表され、2024年の漢字は「金」でした。「金」をどう読むか…多くは「カネ」か「キン」でしょうが、さて、あなたはどの読みましたか？「キン」はともかく「カネ」にはいろいろな思いが込められているかもしれませんね。

また、「金」が選ばれたのは2021年に続きなんと5回目だそうです、それだけ「金」は私たちの生活とは深い関わりがあることなのでしょうが、さて、これも毎年恒例の《2024年あれこれ》の中に「金」にまつわる出来事があったかな？

## 《2024年なだちのあれこれ》

◇1月1日(月)能登半島地震発生。津波警報発令により名立区でも多くの住民が避難。

(右:旧山海荘近くから不安げに海を望む)

◇1月14日(日)さいの神

(赤野俣、森・池田・桂谷、折平、不動)

◇1月25日(木)～3月13日(水)名立大町ほかお雛さま展示(13会場21組)

(名立大町自治会・名立区住民福祉会・上越市社会福祉協議会名立支所)

◇2月18日(日)名立大町自治会冬季運動会～スカットボール・輪投げ～

◇2月24日(土)灯の回廊・不動ミニキャンドルロード(輝く里不動の会)

～Road to Fudou(左:丸田地区)

◇2月25日(日)お雛さまウオーキング&コンサート

◇3月17日(日)2024まちづくりフォーラム

「福祉でも災害でも…自助・共助・公助のまちづくり」

◇4月1日(月)NPO法人まちづくり未来ネット・名立設立

◇4月9日(火)宝田小学校入学式

～6人のピッカピッカの一年生が入学～

◇4月30日(火)NPO法人まちづくり未来ネット・名立第1回通常総会

◇5月26日(日)福祉施設応援隊春の草刈り(夏は7月21日)実施

(名立区住民福祉会・名立大町自治会)

◇6月15日(土)NPO法人設立記念イベント①2024まちづくりフォーラムⅡ「明日の名立を考える」

◇7月14日(日)不動山登山2024(名立体育協会)41人参加



◇8月12日(月)～17日(土)2024 ふるさと名立・夏まつり

12日(月)北部地区夏まつり、下名立地区夏まつり

15日(木)上名立地区夏まつり

15日(木)16日(金)不動地区ふるさと夏まつり

17日(土)本まつり～夕陽イベント・海上花火大会～(左:海上から)



◇10月5日(土)2024 なだちスカットボール交流会

～名立中学校生徒14人と老人クラブ会員20人との交流～(下写真)

(名立区住民福祉会・名立区老人クラブ連合会)

◇10月15日(火)北部地区敬老

祝賀会(ろばた館) 44人参加

◇10月20日(日)名立太鼓

40周年記念演奏会 5団体参加



◇10月28日(月)南部地区敬老祝賀会(ろばた館)

47人参加

◇11月3日(文化の日)名立区駅伝大会

(名立体育協会) 30チーム参加

◇11月30日(土)NPO法人設立記念イベント②なだち未来ひろば開催



## 《なだち未来ひろば開催》



ということで、11月30日に開催された“なだち未来ひろば”についてお知らせします。

なだち未来ひろばは本年4月1日のNPO法人設立を機に改めてこれからの名立のまちづくりを地域一体となって取り組んでいこうという目的で開催しましたが、これまではない大きな特色が2つありました。

一つはイベントの企画立案から準備、当日の運営を30～40歳代の若い世代が中心となって行うということ、そして

もう一つはこれまで行政や住民団体等が主体となって進めてきた“まちづくり”に企業や若い世代、子どもたちの視点や感覚を取り入れて考えていこうとすることでした。



「まちづくり」ブース

当日は会場狭し…といろいろな企業や団体の活動紹介や年齢・世代を超えた様々な願いや夢、希望がぎっしりつまった“なだちの未来”があちこちに広がっていたかと思います。



「暮らし」ブース

参加(出展・出店)された 22 の企業・団体のみなさん、“なだちの未来”をレゴを使って形にしてくれた中学生や小学生たち、あいにくの天候にもかかわらず区内外から来場していただいた多くの(200人超!)のみなさん、そして、準備から片付けまでお手伝いいただいたスタッフのみなさん等々…当日このイベントに関わったいただいた全てのみなさんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



「企業」ブース



雨の中、「働く車」展示

みなさんお一人おひとりの受けとめや感想は違うかと思いますが、なだち未来ひろば実行委員会の松井千代仁実行委員長(株)MATSUI 企画代表取

締役・NPO 法人まちづくり未来ネット・名立地域づくり部会長)はイベント終

了後に次のような感想を述べています。

『今回、地域の未来を感じさせる広場を作りたいから…と、私と同年代の実行委員で発案し、多くの企業や団体から出展していただき、賑わいがあり新しくコミュニティが創設できた記念イベントになったと思います。

年代を超えて、再利用 LEGO を使い未来の名立にあつたらいいなを想像する…かなり素敵なことです。実現できるかよりも未来の地域を思う時間を作れたことに開催して良かったと思います。

参加された企業からも、“違う側面から名立を知れて良かった”、“来年には名立で活動したい”…と未来創成へ進み始める声も聞きました。』また、当日来場されたみなさん

にお願いしたアンケートにも多くの期待や希望等が寄せられましたので、その中から一部をご紹介します。

- ・子どもがたくさんふえて、にぎわいのあるまちになってほしい
- ・子どもたちに引き継いでほしいことたくさんあると思いました



「名立のうまいもん」ブース



「野菜販売」ブース



「ドローンで集合写真」



「子ども縁日」ブース



おおにぎわいのレゴ・ブース

・今回のイベントは楽しみながら勉強になってとてもよかった。定期的に開催してほしいです  
・このように一堂で各ブースの展示や活動の様子等が知れるのはいいことだと思いました。

お客さんの年代も若い方々が多く、名立の未来も決して暗くはないとうれしくなりました。

企画等に参加された方たちのご苦勞に感謝しますし、今後のご活躍を期待します。



この“なだちの未来”は12月末まで名立地区公民館（コミプラ）で展示しています

それにも応える義務が私たちにもあると思います。

\*\*\*\*\*

「広場（ひろば）」は辞書を引けば「多くの人が集まれる公共の広い場所」とか「話し合い、意思の疎通をはかることができるような共通の場」という意味があります。

そこに「ゆるやかに…」とか「だれもが…」「いつでも…」などの思いも加え、みんなが自由に集い、“なだちの未来”を語り合える“ひろば”づくりにこれからも取り組んでいきたいと思ひます。

もちろん地域のみなさんお一人おひとりが“なだちの未来”を作っていく主人公です。

ぜひ多くのみなさんからご参加いただき、“なだちの未来”を語り合っていただけたらと思ひます。

ただ、今さらですが、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、“明日の名立”を取り囲む環境や状況は非常に厳しいことが予測されています。

こんなときに例えにもならないかもしれませんが、古代ローマでは商店などが立ち並んだ“広場”で都市（まち）の成立とともに政治や市民集会などの様々な市民活動が行われるようになり、市民の日常生活の中心としての役割を果たした…とあります。



洋上から望む朝日

そんな夢のような“なだちの未来のひろば”に2025年は一歩でも前に進むようにと願いつつ2024年最後の「未来ネット通信」とします。

能登半島地震から始まった2024年でしたが、間もなく2025年を迎えます。

今年一年のご理解とご協力に深く感謝申し上げますとともに、年末年始でなにかとご多用のことと思ひますが、インフルエンザや新型コロナウイルスなどにもご留意いただき、どなたも穏やかな新年をお迎えすることができますようにお祈り申し上げます。

【編集・発行】NPO 法人まちづくり未来ネット・名立 理事長 三浦 元二

上越市名立区名立大町 200-1 (名立地区公民館内)

☎: 025-537-2182 FAX: 025-546-7041

✉: [matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp](mailto:matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp) ホームページ URL: [nagatatsu.com](http://nagatatsu.com) HP ↑ インスタグラム ↑

Instagram <https://www.instagram.com/nadachi.machikyo/>

